

平成30年度 補助金評価シート

補助金名称	墨田区国際化推進団体補助金						主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区国際化推進団体補助金交付事務要領						文化芸術振興課文化芸術・国際担当		
事業概要	墨田区国際化推進クラブ（SIPC）が行う事業に対して助成する。						5608-6212		
							事業の終期		
							平成37年度		
必要性・妥当性	区民のニーズ								
	外国人住民が増えている（12,291人（平成30年5月）/前年同月比563人増）中、墨田区国際化推進クラブ（SIPC）が実施する各種事業に対する潜在的なニーズは高い。								
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）								
	区が補助金により、墨田区国際化推進クラブ（SIPC）の事業を側面支援していく必要がある。								
有効性・適格性	手段に対する指標（活動指標）	指標	外国人住民数				単 位	人	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
		15,000	37	目標	11,500	11850	12200	12550	
				実績	11,530	12056			
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	12950	13300	13700	14150	14550	15000	
		実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	外国人にとって暮らしやすい社会が実現すれば、結果として外国人住民数の増につながってくると考えられるため、外国人住民数を活動指標とした。（年3%増見込）								
	目的に対する指標（成果指標）	指標					単 位		
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
				目標					
				実績					
		H32	H33	H34	H35	H36	H37		
目標									
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
		300	300						
		H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 横ばいである。				
施策への関連性	区民が組織する国際化推進クラブ（SIPC）との協働を通じて、外国人にとっても暮らしやすい環境づくりにつなげる。								

1 必要性・妥当性		5	
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している		

判断理由

国際化推進クラブ（SIPC）の支援は、在住外国人への支援策として引き続き必要性が高いため。

2 有効性・適格性		4	
-----------	--	---	--

経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されている
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	該当なし	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	不明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっていない	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	不明確

判断理由

事業への参加者に広がりがないなど、効果性に課題があり、広報方法の工夫等が必要である。

3 効率性・経済性		5	
-----------	--	---	--

類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	している
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である		

判断理由

在住外国人への事業を、引き続き、国際化推進クラブ（SIPC）との協働により実施していくが、より効率的・効果的な方法については、検討の余地がある。

<p>【評価結果】</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">改善・見直し</p>	
--	--

中間・最終年度の講評 多文化共生の実現は、外国人が増える中、喫緊の課題であり、国際化推進クラブ（SIPC）の活動は引き続き支援していく必要がある。

今後の方向性 国際化推進クラブ（SIPC）の活動を見直し、拡充を図っていく。

補助金 名称	墨田区国際交流事業助成金						主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区国際交流事業助成金交付要綱						文化芸術振興課文化芸術・国際担当		
事業概要	海外友好都市との交流事業を企画・実施する団体に対し、経費の一部を助成する。						5608-6212		
							事業の終期		
							平成37年度		
必要性・ 妥当性	区民のニーズ								
	海外からの招聘及び海外への渡航は、経費が大きくなることから、助成のニーズは高い。								
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）								
	民間交流を推進する観点からは、区が実施する必要性が高い。								
有効性・ 適格性	手段に 対する指標 (活動指標)	指標					単位		
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
				目標					
				実績					
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標							
		実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	民間同士の交流回数				単位	回	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		3	37	目標	1	1	1	1	
				実績	1	1			
			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	2	2	2	2	2	3	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
友好都市協定を基礎として、民間交流が継続的に行われることが、本事業の成果として重要であるため。									
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34		
	300	300							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 横ばいである。					
施策への 関連性	区民の国際理解の推進につながる。								

1 必要性・妥当性	5
-----------	---

区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している		
判断理由			
区民の国際理解に資するとともに、多文化共生社会の実現にも効果が認められる。			
2 有効性・適格性			5
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されている
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	該当なし	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっている	効果測定のための具体的な目標・指標が明確か	明確
判断理由			
適切な経費負担の下、実施している。			
3 効率性・経済性			4
類似する補助事業がないか	ある	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	している
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である		
判断理由			
参加者から一定の負担を求めるなど、配慮されている。			
【評価結果】			
中間・最終年度の講評	より多くの団体が本助成金を利用して、民間交流の充実が図られるよう、改善が必要である。		
今後の方向性	区民の国際理解の一助となる事業として、引き続き実施していく。		

